

豊かな自然の復元を願って～県民総参加の森づくり

桑田 結（ブナを植える会）

あゆみ - 豊かな自然の復元を願って

ブナを植える会は、1980年に設立されました。第1回のブナツ子の植樹を1981年6月に鉢伏高原で行いました。それ以来、31年間で但馬地方にて、約13,000本のブナツ子の植樹を行いました。1995年に、六甲山で、ブナの種子の採取に成功、育苗～植樹～育樹を行っています。現在120本が育っています。

東お多福山のススキ草原の保全、再生活動に参加しています。しかし、近年、ネザサが繁茂して、面影はありません。それを再生するために作業を続けています。六甲山系グリーンベルト整備事業に参加して、「鶴甲の森」「五助の森」で活動しています。



草原だった鉢伏高原の中に、最初のブナツ子の植樹を行いました。それは32年前の昭和55年6月でした。



創立30周年記念として、第3代目の十字架を立てました。約13,000本のブナツ子を但馬地方の山々に植樹しました。



絶滅の危惧される六甲山のブナの種子を平成7年（1995）に、採取～育苗～植樹～育樹と続け、現在120本のブナツ子が六甲山中で育っています。



東お多福山は、かつては、ススキ草原で眺望もよく、夏、秋は、いろいろな草花が楽しめました。しかし、近年、ネザサが繁茂して、昔の面影はありません。それを再生するために作業を続けています。

森をあそぶ - 公開ブナ林へどうぞ～レクリエーション・林業体験

私たち「ブナを植える会」は創立 32 年目の団体です。最初は鉢伏高原のブナの植樹から始まりました。現在までに約 13,000 本のブナツ子を但馬地方の山々に植え、育てています。数年前より、鉢伏高原のブナ林で緑の少年団の交流会や自然学校の林業体験などを行って、こどもたちの森あそびを実施しています。

平成 24 年より立派に育ったブナ林の林内・周辺を整備して「公開ブナ林」として一般公開して手軽にブナ林を楽しんで貰えるようにしています。本年は、鉢伏高原と名草神社下の 2 カ所を公開します。更に、おじろスキー場上部と創造の森も整備して公開する予定です。



鉢伏高原

ブナを植える会、創立の地です。ハチ高原に立派なブナ林が復活しました。ぜひ、どうぞ。緑の少年団・自然学校の林業体験、滝川学園インターアクト・クラブの植樹・育樹活動。



名草神社下

養父市の木「ブナ」の誕生の地。現地までの林道には、機械化林業地、日光院の立派な寺社林、更に名草神社の大杉など、見どころが沢山あります。



おじろスキー場

無雪期のスキー場は牛が放牧されています。春から秋まで、いろいろな花が楽しめます。途中立派なブナ林も見られます。



創造の森（浜坂・久斗山）

日本海沿いで、わずか 300 米ほどの所に立派なブナ林があります。その林道沿いにブナツ子が育っています。

森をつくる - 連携による森づくり

私たちのフィールドでたくさんの企業、学校、市民団体の皆様と連携による森づくりを行っています。鉢伏高原、名草神社下、おじろスキー場、創造の森では地元の人々との合同作業を行い、更に、はるばる神戸の地より滝川学園インターアクト・クラブのメンバーが各地に参加して活動しています。六甲ブナと六甲山系グリーンベルトでは、関西スーパーマーケット、国際ソロプチミスト神戸、神戸夙川学院大学、滝川学園インターアクト・クラブ、シスメックス（株）、住吉川流域連絡協議会など、企業、学校、市民団体の皆様とともに森づくりを続けています。このフィールドは、都会に近く、都市住民が手軽に森づくりが出来るのが喜ばれています。



鉢伏高原

但馬地方では、地元の人々との連携の中で、ブナの植樹～育樹を行っています。滝川学園インターアクト・クラブ、こうべ森の学校などの参加もあります。



六甲ブナ

絶滅の危惧される六甲ブナの種子の採取から育苗～植樹と沢山の人々の協力で現在六甲山上で、120本のブナツ子が育っています。温暖化で益々、生存があやうくなってきました。



鶴甲の森

六甲山系グリーンベルト整備事業の一つで交通の便が良いので、沢山の企業、市民団体が参加しています。
(株)関西スーパーマーケット、シスメックス(株)、国際ソロプチミスト神戸、(株)高島屋、滝川学園インターアクト・クラブ、鶴甲の森づくりGなど



五助の森

五助の森づくりもグリーンベルト事業ですが、住吉川流域の利をいかして、「豊かな森川海を育てる会」を開設、都市河川の流域文化の創造を目指して活動を続けています。神戸川と海を考える会、神戸夙川学院大学など。

森を活かす - 交流による活性化

私たち森林ボランティア団体は連絡協議会を立ち上げて団体間の交流を行っています。それぞれの団体の特徴を出し合って助け合って活動を行っています。例えばブナを植える会の鉢伏高原のフィールドへこうべの森の学校の刈り払い班が応援に駆けつけたり、又、「ひょうご森のまつり2011」(淡路市)では、イベントの竹林整備に地元団体に加えて神戸地区より数団体が参加して作業を行ったりしました。片付けた竹材でステージを飾ったり、演台作りをしたりして成果をあげました。東お多福山草原保全・再生研究会では市民団体、企業に呼びかけ、県立人と自然の博物館のご指導で徐々に成果があがっています。5年目の本年は一段とすぐれた成果が期待されています。豊かな森・川・海を育てる会は、住吉川の新しい流域文化を創作できればと願って活動を始めました。都市河川の新しい姿を住民と共に作り出せればと思います。



鉢伏高原

鉢伏高原では、「こうべ森の学校」の皆様により、草刈りを行って貰いました。その他、地元の有志の皆様により刈り払いなどご協力いただきました。



東お多福山

2008年より始まった「東お多福山」のススキ草原の保全・再生の事業も、5年目の活動に入り、成果が見られます。秋にはススキの穂が増え、春～秋に各種の花が見られるようになりました。レクリエーションの場としてどうぞ。



森のまつり

「ひょうご森のまつり2011」(淡路市)では、プレイイベントとして、地元ボランティア団体・一般市民の参加により竹林整備を行いました。



住吉川

都市河川である住吉川を生物多様性・生態系の豊かな川としてPRする事によって、流域文化の形成を目指す住吉川流域連絡協議会が、結成されました。森の部分は六甲山でも一番広い源流域を持ち、森林・動物など自然に恵まれています。川の部分は、十分な水量があり、アユ・シラスウナギ・モクズカニなどの遡上が見られます。これらの生物の移動を助けるための魚道の改良工事が行われ、大きな成果を上げています。

事務局連絡先 ブナを植える会(桑田 結)

〒652-0884 兵庫県神戸市兵庫区和田山通 1-2-25 D-102 (有) 桑田製作所内

TEL: 090-3166-9785 FAX: 078-652-7625